

磐田卓球場ラリーナ



「ラリーナ」と古墳の森の間のジョギングコースを走る市民

写真1

施設の概要

磐田卓球場ラリーナは、5世紀頃に築造された古墳のある緑豊かな運動公園の、市内のスポーツ施設の再編により閉鎖されたテニスコート跡地を再利用し新設された。古くから市民の憩いの場・運動を楽しむ場として親しまれている公園の景観に馴染み、卓球を通して活発な市民活動を誘発するよう、計画されている。



写真2
緑豊かな運動公園の古墳の森に寄り添うラリーナ

景観形成のポイント

カーブを描く特徴的な屋根は、隣の古墳をモチーフとしており、公園の景観に溶け込むよう配慮している。古墳の森とジョギングコースに向かって設けられた窓は、公園を行き交う市民は室内の卓球の様子を見ることができ、アリーナの中で活動する市民は古墳の森を見ることができるなど、スポーツと歴史と自然の豊かな関係を作り出している。



写真3
窓から古墳の森、行き交う人が見える

景観形成の活動

このプロジェクトは、磐田ならではの卓球専用アリーナを建設することで、市民の交流と生涯スポーツを推進し、スポーツのまち・卓球のまち磐田を広くアピールしていくことを目的として計画が進められた。市外からの利用者も多く、今後、合宿の誘致や市民参加イベントなどを企画し、「ラリーナ」を中心に磐田とスポーツの魅力を広めていきたいと考えている。



写真4
公園とアリーナをつなぐ展示スペース